

平成30年度実績に係る部局評価書

部局名: 数理・データ科学教育研究センター

【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	B	A

【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		全学の学部生を対象に数理・データアクティブラーニングプランとして統計リテラシー・応用数学科目を40科目提供し、単位認定者1,718名の成果を収めたことが評価できる。
【研究】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 公開講座等の実施件数について、教員数が少ない中でも積極的に取り組むことで、実績を大きく伸ばしていることが評価できる。 常勤教員一人当たりの共同研究・受託研究の受入金額については、実績がないためC評定としているが、部局の特性上、実績を上げることが困難であることは理解している。今後、本部と対話をしながら、貴部局の特性や強みを発揮し活躍できる部分において、より高い目標を設定し、その実現に取り組んでいただきたい。</p>
